

小学生(低学年)向け



『いえができるまで』

砺波周平/取材・構成・写真
ひさかたチャイルド ¥1,300 (税別)

設計士、大工、材木屋とたくさんの人たちの力を合わせて「家」は完成する。基礎工事から家が建つまでを写真でわかりやすく説明する。富士河口湖町に家が建てられる工程をたどりながら、家造りに携わる人たちの仕事内容も理解することができる。



『おのまとペの本』

だんきょうこ/書 ニシワキタダシ/絵
高陵社書店 ¥2,100 (税別)

オノマトペとは、「にこにこ」「ころころ」のような擬態語・擬音語のこと。音や動作の言葉から何をしているのか想像してみよう。声に出して読む楽しさ、気持ちよさを味わうことができる1冊。



『せなかのともだち』

萩原弓佳/作 洞野志保/絵
PHP研究所 ¥1,100 (税別)

ある日、とてもいじわるなヒツジの背中に、おこりんぼうのハリネズミが落ちて、取れなくなってしまったからさあ大変!言い争うけれど離れられない2匹が気づいたことは…。挿絵の表情からも2匹の心情の変化が感じ取れる。



『たぬきえもん』

藤巻愛子/再話 田澤茂/絵
福音館書店 ¥900 (税別)

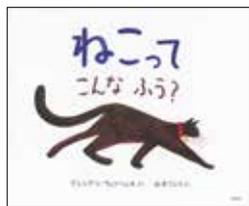
ある日、役者のたぬきえもんが、隣村で芝居をしていると、母親が病氣だという知らせが入る。急いで家に帰ろうとするが、化け物が出るという噂で日が暮れてしまう。たぬきえもんは化け物のやり取りが痛快な、甲州弁で書かれた山梨の昔話。



『とんでもない』

鈴木のりたけ/作・絵
アリス館 ¥1,500 (税別)

他の人をうらやましいと思うことはある?人間の子どもは動物のサイをうらやましいと思い、サイはうさぎがうらやましくて…。みんな自分にはないものはよく見える。でも、それぞれ大変なところもあるということがわかる1冊。



『ねこってこんなふう?』

ブレンダン・ウェンツェル/さく 石津ちひろ/やく
講談社 ¥1,500 (税別)

私たちの身近にいる「ねこ」。でもそれは人間から見た姿。「〇〇からみると、ねこってこんなふう?」と、いろいろな生き物からの視点でねこが描かれる。立場が違えば感じ方、見え方が違うことを教えてくれる絵本。



『はじめてのオーケストラ』

佐渡裕/原作 はたこうしろう/絵
小学館 ¥1,500 (税別)

指揮者のパパはみーちゃんに、1年生になったらコンサートへ招待すると約束した。待ちに待ったその日、ドレスアップして出かけたみーちゃんは、心から演奏を楽しむ。子どもたちにもコンサートを楽しんでほしいという作者のメッセージが込められた絵本。



『わたしのそばできいていて』

リサ・バップ/作 菊田まりこ/訳
WAVE出版 ¥1,400 (税別)

字を読むのが苦手な女の子のマディ。国語の音読でいつもつかえてしまい、落ち込む日々。ある日訪れた図書館には、犬に本を読み聞かせる部屋があって…。上手に読めなくても大丈夫、聞いてくれるよ。そんなメッセージが聞こえる1冊。

その他のおすすめの本

●『きょうはかぜでおやすみ』

パトリシア・マクラクラン/ぶん ウィリアム・ベン・デュボア/え 小宮由/やく 大日本図書 ¥1,400(税別)

●『しゅくだい大なわとび』

福田岩緒/作・絵 PHP研究所 ¥1,100(税別)

●『ただしいもちかたの絵本』

WILL子ども教育研究所/編・著 すみもとななみ/絵 金の星社 ¥1,500(税別)

●『とうだい』

斎藤倫/文 小池アミイゴ/絵 福音館書店 ¥1,300(税別)

●『ニコニコ・ウイルス』

くすのきしげのり/作 佐竹美保/絵 PHP研究所 ¥1,100(税別)

●『100円たんけん』

中川ひろたか/ぶん 岡本よしろう/え くもん出版 ¥1,300(税別)

●『ペットのきんぎょがおならをしたら……?』

マイケル・ローゼン/作 トニー・ロス/絵 ないとうふみこ/訳 徳間書店 ¥1,200(税別)

●『まめまめくん』

デヴィッド・カリ/文 セバスチャン・ムーラン/絵 ふしみみさを/訳 あすなろ書房 ¥1,000(税別)

●『まるごとごくり!』

シンシア・ジェイムソン/再話 アーノルド・ローベル/え 小宮由/やく 大日本図書 ¥1,400(税別)

●『むしこぶみつけた』

新聞孝/写真・文 ポプラ社 ¥1,500(税別)

●『目でみることばのずかん』

おかべたかし/文 やまだたかし/写真 東京書籍 ¥1,600(税別)

●『わたしのいえ』

カーソン・エリス/作 木坂涼/訳 偕成社 ¥1,800(税別)